

**令和元年度第1回姫路市男女共同参画審議会
での意見への対応内容・取組状況等調査**

委員からの意見		対応内容又は取組状況等
健康福祉局 (保健福祉政策課)	DV被害者の安全確保・相談体制の充実について、相談件数が増加する中で、警察・全国シェルターネット等との連携など、何らかの方策はとられないものか。	本人の意向を最優先として、所轄警察署・兵庫県女性家庭センター・兵庫県子ども家庭センター等の関係機関とは協力体制を構築し、随時対応にあたっている。 被害者のシェルターへの移送についても、あくまで本人の意思を実現する支援に留まるため、可能な範囲で情報の収集等を行い本人に提示しているが、本人の希望がない場合には、他機関との情報交換はかなり制限される。
教育委員会 (人権教育課)	若年層向け啓発パンフレット「男女共同参画社会～自分らしく生きるために～」について、全中学校で授業等で活用できるようにしてもらいたい。	令和元年度末に実施した調査ではホームルームや授業で活用した学校は9校、配付時にパンフレットについて説明して活用した学校は30校であった。(重複回答あり) 今年度も、年度当初に学校に対して、「若年層向け男女共同参画啓発パンフレット」の活用及び活用方法等について説明・依頼を行った。また、6月にパンフレットを配布する際にも、各学校長宛に活用を依頼する文書を同時に配布し、授業での活用を依頼したい。
市民局 (男女共同参画推進センター)	男女共同参画情報誌「ウエーブレット」について、市民への情報提供のツールとしてより広く読んでもらえるよう工夫してほしい。市立高校・専門学校など学校教育の場での活用など新たな配布先の検討、それに伴って読者に関心を持ってもらえる内容にするなどしてはどうか。	配布先に、市内の専門学校や姫路市と包括連携協定を締結しているイオン株式会社(配架先:イオン大津姫路店・イオンモール姫路リバーシティ店・イオンタウン姫路店・マックスバリュ宮西店)を追加し、多くの市民に手に取ってもらえるようにした。紙面については、写真やイラストなどを増やすなど、視覚でも楽しめるよう工夫した。
教育委員会 (教育研修課)	校長研修の内容について、男女共同参画に関する部分の充実をお願いしたい。 (教師の高齢化や年齢層の偏りが進み、中堅教師から若手教師への指導が行き届きにくくなっていることから、生徒に向けた教育を向上させるには、校長職から各教師への指導が必要となるため)	校長が管理職として学ばなければならないことは多岐にわたる中、業務改善の観点から、教育研修課が企画する校長研修は現在年1回となっている。男女共同参画の観点も含め様々な人権課題を意識した学校運営に関する研修の企画運営に今後も取り組んでいく。 校長は各関係機関等の通知を受け、校内の会議や研修を通じて男女共同参画について職員への周知を図っている。